

公共施設 視察研修

(12月13日)

今年度から実施している議会による公共施設研修を今回は参加15名の議員により、町内5つの閉校施設の視察研修を行った。

閉校施設の再利用は昨年よりの跡地利用検討委員会に於て、議論されているが、耐震問題、借地問題等むずかしい問題となっている。施設の概要は下記のとおりで早急に対応が望まれる。

耐震診断には、柱・壁の地震に抵抗する断面積の量で簡易的に判断する耐震第一次診断と、梁は崩れないものと仮定し、柱・壁が崩れてしまう終局の耐力で判断する耐震第二次診断がある。

第一次診断ののちに第二次診断を実施することになりますが、閉校が決まっていたため第二次診断は実施していません。



旧日良居中学校



旧沖浦中学校

〔参考〕 第二次診断Is値の評価

Is値0.3未満...大地震により倒壊の危険性が高い。

Is値0.3以上0.7未満...大地震により倒壊し、また崩壊する危険性がある。

Is値0.7以上...目標耐震判断指標（耐震基準）
大地震とは関東大震災級をいう。

閉校施設の概要

学校名	校地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	階数	建築年	耐震第1次診断結果 (最少Is値)
旧屋代小	9,548 (うち借地2,466)	校舎棟: 1,841	3	S56	0.24
		講堂: 363	1	S27	未実施
旧沖浦中	9,548 (全筆借地)	校舎棟: 883	1	S10	未実施
		校舎棟: 737	2	S25	
		講堂: 330	1	S30	
旧油田中	3,272	校舎棟: 1,482	4	S50	0.20
		校舎棟: 252	1	S50	未実施
旧日良居中	6,892 (体育館敷地含む)	校舎棟: 1,766	3	S53	0.30
		技術棟: 119	1	S53	未実施
旧三蒲小	6,612 (体育館敷地含む)	校舎棟: 1,790	3	S51	0.19